

青い空ガーデン整備事業（障害児・者と地域をつなぐ農園づくり）

取り組みに至る背景・事業の目的

閉ざされた障害支援から、誰もが気軽に参加できる“青い空ガーデン”を整備し、自立支援と自然体での障害理解の場づくりをめざす。

事業内容

遊休農地を活用したオープンガーデンに賛同する市民、学生、ボランティアなどと協働実施

- 農園整備（約 26 a）
 - ・ 整地作業、土づくり、区画づくり
 - ・ ビニールハウスのビニール覆い作業
 - ・ 木材チップによる通路づくり
- 講習会・公開参観開催
園芸福祉士による農作物栽培講習会（5回）、市民参加の公開参観（2回）開催
- 農作物栽培
ブルーベリー、ラベンダー、とうもろこし、じゃがいも等の栽培・収穫



【公開参観】

事業効果

- ビニールハウスの整備により、冬期間の育苗床ができ農園での通年作業が可能となった。
- 講習会等の開催により、技術習得と市民との交流が促進され、活動の輪が広がった。
 - ・ 参加延べ人数 285 名（平成 20 年より +178 名）

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

将来、ハンディキャップがあっても親も子も地域で安心して暮らせる環境やネットワークづくりをめざします。

農作業を通して働く姿勢を身に付け、販売を通して社会のルールや人との関わりを学びながら障害児（者）の自立支援活動を行っていきます。

【選定のポイント】

遊休農地を活用し、通年作業が可能な農園を整備するとともに、講習会や見学会の開催により、市民との交流が促進され、誰もが気軽に参加できる障害者支援事業となった。

団体名	チーム青い空（塩尻市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	電話 0263-54-0601	事業費	2,000,963円
		支援金額	1,904,000円